

1 事業実施の方針、活動について

精神障害者の社会参加促進を目指し、生活を取り戻すための活動の場、相談・サポートをできる場等を充実させていくとともに、地域住民等に対して精神障害者への理解を啓発することにより、精神障害者の福祉を向上、発展させることを目的とし、法人をスタートしてから2年目の年度です。

4月1日から障害者ケアホーム“どんまいハウス”として、今まで運営してきたこもれびに加え、地域で単身生活を送っていたが生活介護が必要になった人を対象にしたいずみ、精神科病院での社会的入院を余儀なくされている人の退院促進を目的としたこだちという目的を定めた3施設の運営を行ってきました。

また4月1日から、地域活動支援センターⅡ型“どんまいクラブ”に加え、小規模作業所として“ゆっくりクラブ”を自主運営にてスタートしました。H19年度の実績をもとにH20年度は補助金対象の施設になります。

7月には、“まんてん企画”の事業を開始しました。企業の仕事を作業所で計画的、安定的に高収入が得られるよう、コーディネートする事業で、今年度は、当法人の2作業所に対し、マンション定期点検清掃の業務を提供しています。

また松山市の医療機関、行政機関（県、市）精神関係の活動をしている法人にお集まりいただき、2カ月に一度（奇数月）精神保健福祉支援連絡会議を開催しています。この会議は法人の事業に活動報告とともに、松山市の精神障害福祉に関する幅広い意見交換の場として重要な会となっています。

精神保健福祉に関する教育・啓発活動、社会的入院の方の退院促進を進めるための活動として、法人としての講演活動、新聞等からの取材は積極的にうけてきました。

また行政・各機関からの理解・協力を得る必要があることから、民生委員、生活福祉課担当者、権利擁護事業担当者等への協力依頼、調整、意見交換などを進めました。地域の自治会主催の会などにも法人としてスタッフが出席し、交流を深めました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	人数	支出額(千円)
障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業	精神障害者共同生活介護事業 (ケアホーム)	4月1日 ～3月 31日	松山市内	8名	松山市内の精神障害者 18名	26,168
障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業	地域活動支援センターⅡ型の運営 どんまいクラブ	4月1日 ～3月31日	松山市内	4名	松山市内の精神障害者 約30名	12,962
障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業	精神障害者小規模作業所の運営 ゆっくりクラブ	4月1日 ～3月31日	松山市内	4名	松山市内の精神障害者 約15名	3,021
障害者の地域生活支援に関する事業	まんてん企画	7月1日 ～3月31日	松山市内	1名	松山市内の精神障害者30名	481

H19年度法人活動報告

- 4/1 ケアホームどんまいハウス・こだち、いずみ
小規模作業所ゆっくりクラブ 正式利用スタート
- 4/17 NPO法人ぼっかぽか1周年記念大会基調講演（理事長）
- 4/19 愛媛医療福祉専門学校 精神保健福祉士コース講演（理事長）
- 5/19 第6回理事会開催
- 5/23 H19年度通常総会開催
- 6/11 社会保険説明会出席（本田）
- 6/28 松山東雲女子大学 講義 NPO法人について（理事長）
- 7/7 松山市社会復帰推進連絡会議出席（理事長）
- 7/10 第1回精神保健福祉支援連絡会議（松山市総合福祉センター）
- 8/10 愛媛県人権サマーセミナー講義（理事長）
- 8/18・19 作業所セミナー研修会（宇和島）（スタッフ2名出張）
- 8/25 どんまい夕涼み会（奥道後山頂ビアレストラン）・参加61名
- 8/28 聖カタリナ大学実習生1名受け入れ（～9/4）
- 8/29 愛媛県指定障害者サービス事業所集団指導（理事長）
- 9/2 まつやまNPOまつり出店、ロビー展示（法連会）参加
- 9/7 松山市社会復帰推進連絡会議出席（理事長）
- 9/11 第2回精神保健福祉支援連絡会議（松山市総合福祉センター）
- 9/14 ゆっくりクラブカラーコピー機贈呈式（伊予銀行福祉財団）
- 9/15 作業所セミナー研修会（宇和島）（スタッフ2名出張）
- 9/28 法人連絡協議会出席（理事長）
- 10/1 新規職員採用試験
- 10/28 聖カタリナ大学大学祭出店参加
- 11/3 真光園バザー出店参加
- 11/4 松山東雲大学大学祭出店参加
- 11/10 精神保健福祉大会参加
- 11/13 法人連絡協議会出席（理事長）
- 11/14 第3回精神保健福祉支援連絡会議（松山市総合福祉センター）
- 11/26 愛媛新聞“社会的入院”関連記事掲載
- 11/30 愛媛医療福祉専門学校実習担当者会議出席（理事長）
- 12/1 愛媛新聞“共生願うカレンダー”記事掲載
- 2/1 きらりの森内覧会式典出席（理事長）
- 12/2 ねっこの会チャリティーコンサート出店参加
- 12/18 聖カタリナ大学実習連絡会出席（理事長）
- 1/9 第4回精神保健福祉支援連絡会議（松山市総合福祉センター）
- 2/15・16 あみ四国ブロック研修会参加（於徳島）（理事長スタッフ6名）
- 2/20 地域活動支援センターどんまいクラブ本町ビルに移転
- 2/21 あいしんビジネスマッチングフェア展示参加
- 3/5 第5回精神保健福祉支援連絡会議（含新どんまいクラブ見学会）
- 3/11 法人連絡協議会出席（理事長）
- 3/15・16 こころの健康フォーラム出店参加、きらりの森見学会担当
- 3/27 愛媛新聞ケアホームどんまいハウス・こだち取材

平成20年 4月 1日から平成21年 3月31日まで

NPO法人 どんまい

1 事業実施の方針

法人は、障害者共同生活介護事業、地域活動支援センター、障害者小規模作業所の経営を事業の柱として、精神障害者の主体性、選択性を尊重した仲間作り、生きがい作り、障害者の人権に配慮したまちづくりに寄与したいと考えます。

- ① 障害者共同生活介護事業(ケアホーム)においては、現在、受け皿がなく、社会的入院を余儀なくされている方たちの退院をすすめていくため退院後の生活のサポートができる施設、現在一人暮らしをしているが、共同生活による介護の必要性が出てきた人たちのための施設など特徴を持たせた3施設の“ケアホームどんまいハウス”(こだち、いずみ、こもれび)の事業を運営をしていますが、社会的使命として、長期の社会的入院の人の退院促進を進めるため、移転を含め、ケアホーム3施設を増設を進めます。
- ② 生活援助を必要とする方のために、日中活動の場の整備も不可欠となります。精神障害者地域活動支援センター“どんまいクラブ”では、作業やレクリエーションでの役割分担などを通し、やすらぎや達成感を感じながら、次の目標を迎えるよう、援助、指導を行います。就労援助、社会適応訓練などについても計画を進め、通所者のレベルにあわせたニーズに答えられるよう、事業を展開していく予定です。
- ③ 病院を退院した方のための日中活動の場として新設した小規模作業所“ゆっくりクラブ”の運営を通し、地域活動支援センターとは違った角度から、地域で生活を総合的に支援します。作業を通し社会とのつながりを作っていきます。仲間作り、生甲斐造りを支援します。
- ④ 日中活動の場が希薄な地域に小規模作業所の開設を予定します。
- ⑤ その他の事業として、まんてん企画では作業所と一般企業を結ぶコーディネート事業を進めます。作業所の社会参加を進め、企業での仕事のパートナーとしての立場を形成していく手助けができればと考えています。
- ⑥ 事業を進めていくためには、その事業に携わる人の育成も不可欠です。各事業所との交流会・勉強会なども企画し、研鑽に努めます。精神障害者に対する地域生活支援を進める中で市民の理解も不可欠です。各バザー・イベント・交流会などに利用者ともども積極的に参加して、市民との交流を深め、その理解を推進します。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業	精神障害者共同生活介護事業 (ケアホーム) どんまいハウス	通年	松山市内	11名	松山市内の精神障害者30名	33,940
障害者自立支援法に基づく地域活動支援センターの経営	地域活動支援センター どんまいクラブ	通年	松山市内	5名	松山市内の精神障害者約35名	13,499
障害者の地域生活支援に関する事業	精神障害者小規模作業所 ゆっくりクラブ	通年	松山市内	4名	松山市内の精神障害者20名	8,401
障害者の地域生活支援に関する事業	精神障害者小規模作業所 設立運営	11月	松山市内	1名	松山市内の精神障害者10名	800
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	まんてん企画 企業と作業所を結ぶ 作業内容コーディネート	通年	松山市内	1名	松山市内の精神障害者50名	1,200
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	他事業所との交流会、 勉強会など	通年	松山市内			0